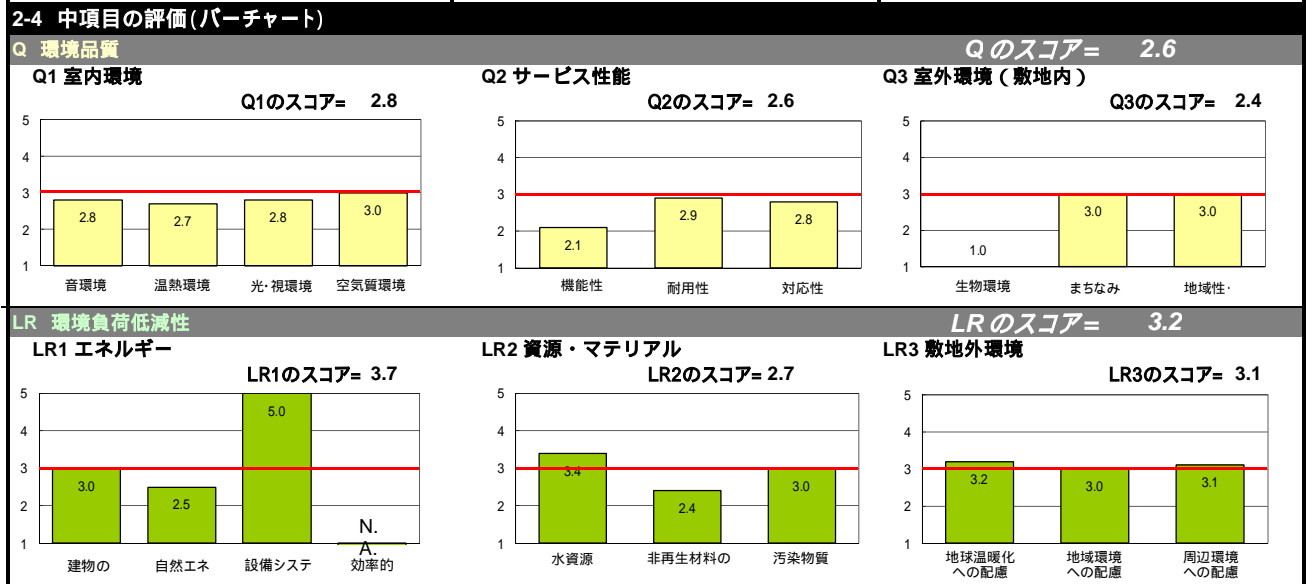
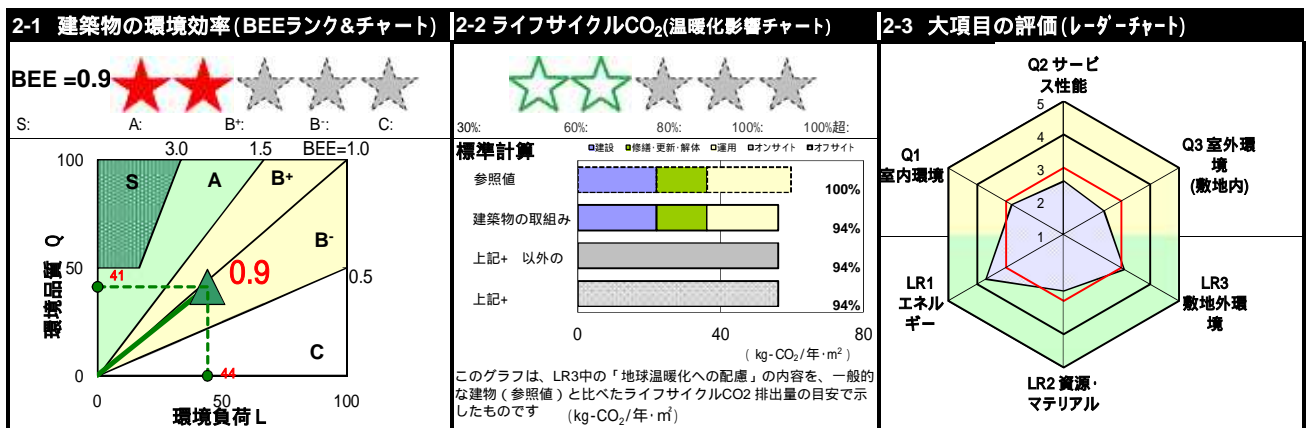


1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	座間宿舎A棟	階数	地上10F		
建設地	座間市座間入谷明王谷5962番外	構造	RC造		
用途地域	市街化調整区域	平均居住人員	345 人		
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年		
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2016年2月 予定	評価の実施日	2013年9月24日		
敷地面積	13,957 m ²	作成者	㈱集成社建築事務所		
建築面積	1,354 m ²	確認日	2013年9月25日		
延床面積	10,311 m ²	確認者	㈱集成社建築事務所		



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>公務員宿舎標準図を基にしているため全国の既存宿舎とのバランスを取りながらも、屋根外断熱やオートロック等今後の動向を見据えた仕様を取り入れた。</p>	<p>その他</p> <p>0</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>各住戸への通風を確保するため、バルコニー手摺は、パンチングメタルを採用した。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>ハード面でのバリアフリー化を図ることにより、より多くの人々に使いやすい建物とした。</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>緑化率30%以上確保することとした。中高木は防犯上あまりブラインドにならない程度に植栽した。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>潜熱回収型給湯器を採用した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>舗装路盤材、アスファルト合材等は再生品を使用した。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>隣接の既設居住区の環境と出来るだけ調和を図った。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される